

DIニュース



保存

NO. 109

発行日 2010.2.19

第二中央病院薬剤課

今月のトピック

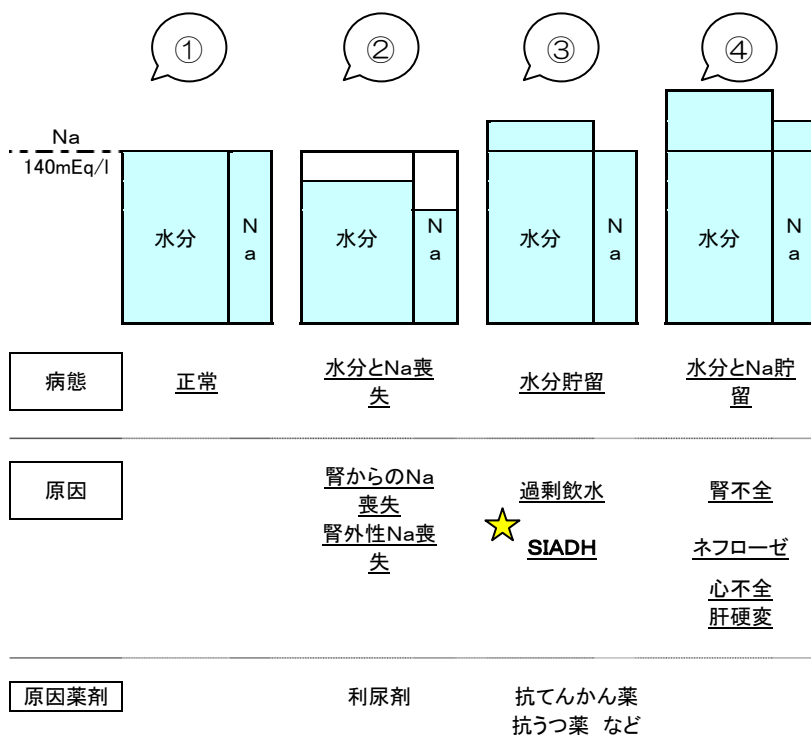
低 Na 血症になる薬って知ってる？

低ナトリウム血症の臨床症状は非常に幅広く、軽度では、傾眠（意識障害）や全身倦怠感、筋痙縮を認め、高度かつ急速な低ナトリウム血症では、昏睡や全身痙攣などいわゆる水中毒症状を呈します。また、軽度の慢性低ナトリウム血症で、患者の転倒率上昇に關与する可能性があることを示すエビデンスがあります。

血清 Na 濃度は、血清 Na 量と水分量で決まります。低 Na 血症とは、Na に対する水分過剰の状態です。

下の図の①が正常の状態です。②では Na も水分も少ない状態で脱水状態です。熱中症の時にポカリスエットなどの電解質が入った飲み物を飲むのは、水分も Na（他電解質）も補給するためです。③は Na の値は正常ですが、水分が過多で、いわゆる水中毒です。健康のためと水を必要以上に飲むと低 Na 血症になってしまいます（後述）。④は水分も Na も過多の状態です。このように血清 Na 量が正常または高値でも低 Na になるのです（図）。

低 Na 血症の原因になる薬剤は多くあります。一部ですが紹介します。（次頁）



★ SIADH（抗利尿ホルモン不適合症候群）：通常、血清Na濃度は抗利尿ホルモン（ADH）により調節されています。ADHは、腎臓で作られる尿の量が多くなり過ぎて体内の水分が不足することのないように、体内に水を引き戻すホルモンです。SIADHでは、血清Na濃度が低値であるにもかかわらず、生理的な濃度を超えて不適切にADHが分泌され、水分が過剰になり低Na血症が続く状態になります。SIADHは肺症細胞癌、髄膜炎、クモ膜下出血、肺炎などの原疾患を有する患者に好発することが知られていますが、薬剤により起こることもあります。自覚症状としてSIADHが認識されることは少ないため、臨床検査で発見されるケースが多く見られます。

抗てんかん薬		テグレトール	デパケン				
抗うつ薬	SSRI	ジェゾロフト	パキシル	デプロメール			
	SNRI	ミルナシプラン					
	NaSSA	レメロン					
抗精神病薬	三環系	トリプタノール	トフラニール	アナフラニール	アモキサシ		
	非定型	リスペリドン	エビリファイ				
	定型	ウインタミン	ベゲタミン	ノバミン	レボトミン	セレネース	PZC
利尿剤		フルイトラン	ラシックス	アルダクトン			
降圧剤		アスラーン					
抗不整脈薬		アミオダロン					
蛋白分解酵素阻害剤		ナファタット					
骨粗鬆症薬		ラスカルトン					

併用されている場合や、高齢者（特に下痢があるみられる場合）は注意が必要です。水中毒についての記事があったので紹介します。水分は適度にとりましょう。

水中毒 (Water Intoxication)

昭和大学附属豊洲病院薬局
伊藤 葉子

水中毒とは、過剰の水分摂取で生じる低Na血症を引き起こす中毒症状である。腎臓の利尿速度16mL/分を超えると体内水分が過剰となり、細胞の膨化を来す。水中毒は統合失調症の患者に多く、幻覚・妄想・脅迫症状や水を飲むと気分が良くなるといった依存から多飲症に至り、水中毒を引き起こす。抗精神病薬の投与で口渇と水分再吸収が盛んになり、体内に水分が貯留され、心臓や筋肉が正常に機能しなくなったり脳浮腫が起こり、精神症状や神経症状を呈する。Naイオン濃度120mEq/L以下で頭痛・嘔吐・精神症状、110mEq/Lで性格変化や痙攣・昏睡、100mEq/L以下呼吸困難などで死亡する。

カリフォルニア州で、水飲みコンテストに参加した女性が5時間で約8Lの水を摂取後、頭痛を訴え死亡したのは水中毒が原因である。

また、ヒューストンマラソンでは4人の選手が極度の水中毒で倒れ、昏睡状態に陥ったり、ボストンマラソン直後の血液検査で、参加者の13%が水中毒だったと報告もされている。

『水』は生命維持には不可欠だが、「さらさら血液」、「健康のために」良かれと過剰摂取することは逆に生命に危機をもたらす原因となる。適度な摂取が肝要である。

出典：日本病院薬剤師会雑誌, 2 : 195, 2010

後発品、増えています

最近、後発品の使用頻度が増え、薬品名で頭がこんがらがっているのではないのでしょうか。また、後発品の名前は、一般名を使うことに決まったため、先発品：メバロチン 後発品：メバン の様なわかりやすい名前はなくなっています。当院採用で、名前が大幅に変わったものを紹介します。

- | | | |
|--------------------|---|--------------------------------|
| 先発品 | → | 後発品（一般名） |
| ホクナリンテープ | → | ツロブテロールテープ |
| ロセフィン | → | セフトリアキソン Na |
| クラビット | → | レボフロキサシン(クラビット 250mg は採用しています) |
| ハルナール（当院はウロスロール採用） | → | 塩酸タムスロシン |

閲覧後、DIニュースのファイルに保管してください。